

ちよだアートスクエア検討会 会議開催経過（平成17年9月～18年9月）

平成17年9月6日（火）

午後4時～ 第1回検討会開催（九段社会教育会館5階 多目的室）
（内容・議題） 委嘱状交付、委員紹介
座長、副座長選出
意見交換

平成17年9月30日（金）

午後3時半～ 第2回検討会開催（九段社会教育会館5階 音楽視聴覚室）
（内容・議題） 新たな文化芸術の拠点のあり方について
具体的な文化芸術事業について

平成17年11月11日（金）

午後6時～ 第3回検討会開催（九段社会教育会館5階 多目的室）
（内容・議題） 今後の進め方について
施設に向けての各位委員の意見について
中間のまとめについて

平成17年12月3日（土）

午後3時半～ 第4回検討会開催（世田谷ものづくり学校 世田谷区池尻2-4-5）
（内容・議題） 世田谷ものづくり学校 施設見学

平成18年1月20日（金）

午後4時～ 第5回検討会開催（九段社会教育会館5階 多目的室）
（内容・議題） 中間のまとめについて
ちよだアートスクエア提言に向けて

平成18年2月28日（火）

午後4時半～ 第6回検討会開催（九段社会教育会館4階 第1集会室）
（内容・議題） ちよだアートスクエア提言について

平成18年3月22日（水）

午後3時～ 第7回検討会開催（九段社会教育会館3階 第1学習室）
（内容・議題） ちよだアートスクエア提言の今後の扱いについて
任期の延長について、今後の会議の進め方について

平成18年7月5日（水）

午後4時半～ 第8回検討会開催（旧練成中学校）
（内容・議題） 旧練成中学校の施設見学

平成18年9月20日（水）

午後4時半～ 第9回検討会開催（九段社会教育会館3階 第1学習室）
（内容・議題） ちよだアートスクエア提言について

アートスクエア検討会のこれまでの検討経過（骨子）

第1回検討会（平成17年9月6日（火）：九段社会教育会館）

○アートスクエアとは

地域が活発で、魅力と力があふれるよう、区民がつくり活動できる「場」というイメージがアートスクエアである。部分的にはプロが入るが、そこにあるのはまちの人であり、次代を担う人を育てる場でもある。

第2回検討会（平成17年9月30日（金）：九段社会教育会館）

情報発信基地としてのアートスクエア

地元の力で地域の文化情報を集め、発信すべきだ。相談（情報発信）できる場としての、情報センターは必要である。

○活動の拠点について

拠点は、新たな施設をつくるのではなく、廃校施設など既存の施設を活用すべきだ。区内の資産をあきらかにして、長い目で準備と計画をきちんと立てるべきだ。

第3回検討会（平成17年11月11日（金）：九段社会教育会館）

○千代田ならではのアートスクエアを

他の自治体にはない、千代田区ならではのものをアートスクエアに盛り込み、千代田区、東京ではじめてのものを作るべきだ。

- ①雑誌図書館や神田の歴史の印刷屋、紙屋、装丁を象徴するもの。
- ②現代のアート建築についてものデータセンター。
- ③伝統工芸に携わる人が常駐し見学・体験できる場所。
- ④千代田の生活文化を取り込める場所（暮らしの中のアート空間）。
- ⑤若手演奏家の登竜門となる、民間にはない小ホール。
- ⑥演劇等の上演系の発表の場。
- ⑦演劇・映画の情報を収集・相談機能を備えた場所。
- ⑧デジタルアーカイブ関連で民間ではできないようなもの。
- ⑨コーディネートする機能をもつこと（オーケストラの指揮者の役割）。
- ⑩学校活用は、小さな教室をツアーして歩く楽しさがある。
- ⑪継続的にやるには、プロデューサー的な役割が重要。

第4回検討会（平成17年12月3日（土）世田谷ものづくり学校視察）

○「世田谷ものづくり学校」概要

- ①所在地 東京都世田谷区池尻2-4-5
- ②事業主体 イデアールプロジェクト（株）
5年間の定期借家による事業、土地・建物の所有は世田谷区
- ③事業内容 都内初の民間事業者による廃校活用であり、児童生徒数減少に伴う小中学校の再編統合とその跡地利用を模索する世田谷区と、デザインによる都市再生をめざす民間企業のコラボレーションより、統合閉校した中学校校舎を定期借家してのギャラリー、セミナールーム、オフィスに生まれ変わった。
- ④事業規模 校舎3, 343㎡ RC造3階建て
- ⑤事業期間 2004年10月1日オープン（当初契約5カ年）
- ⑥施設内容 1階：ギャラリー、試写室、工房、カフェ
2階：建築・家具などに携わるクリエイター用スモールオフィス、ワーキングスペース
3階：映画・映像関係、Webなどのメディアに携わるクリエイター用のスモールオフィス、ワーキングスペース

※世田谷ものづくり学校（IKEJIRI INSTITUTE OF DESIGN）ホームページ：

<http://www.r-school.net>

第5回検討会（平成18年1月20日（金）：九段社会教育会館）

○アートスクエアとしての基本的な考え方

- ①アートスクエアの対象は、在住区民・在勤・観光客等広く含まれるためここでは「アートスクエア区民」という言葉を使う。
- ②既存施設には、公共施設、大学・専門学校等、企業のオープンスペースがある。さらに地域の専門家施設を入れて3つに分類する。
- ③活動の場でもあり情報発信の場でもあり、常時使用でき、かつ、文化芸術に関する情報を発信する機能も併せ持つ。
- ④ハードの拠点としてのアドバイザースタッフ、全体のマネージメント、調整機能としてのアートスクエア運営組織の設置が必要である。

第6回検討会（平成18年2月28日（火）：九段社会教育会館）

○アーツスクエアの目的

- ①自己表現の場や人々の交流の機会を設け、「生活の質を高める」という役割を担う。
- ②区が持つ文化的・歴史的に貴重な財産の情報を有効に活用する。
- ③江戸時代以降の、歴史文化・伝統文化の良さを見直す必要がある。
- ④千代田区の、特性である産業文化を活かした文化の継承活動を推進する。
- ⑤新たな文化を地域から生み出し、区民の交流の輪を広げ深めることを支援する。
- ⑥コンクールや展覧会など評価の場を提供する。

第7回検討会（平成18年3月22日（水）：九段社会教育会館）

○提言に向けて

- ①本構想の具体的な実施に向けて、新たな組織を設置し、専門家の意見を盛り込み進める必要がある。

第8回検討会（平成18年7月5日（水）：旧練成中学校）

○10月の提言に向けて

- ①本提言において、検討会でアーツスクエアの拠点として最も適していると思われる場所を検討し、評価する。
- ②候補施設として考えられる区有施設のリストアップを行い、旧練成中学校を検討委員として実際に見学する。
- ③アーツスクエアの候補地として旧練成中学校の評価は高いが、本施設は、現在一部地域利用を継続しており、地元町会等から要望書も出されていることから、今後地域に理解を求めていくことが必要である。

第9回検討会（平成18年9月20日（水）：九段社会教育会館）

○10月の提言に向けて

- ①本提言の内容について検討委員の意見を求め、修正及び補足を行い、再確認のうえ、提言としてまとめることで了解を得られた。